（郵便報知新聞）　（本號四頁）　明治二十一年十月十八日　（定價二錢）

時事新報

時事新報は日本國中唯一の毎日刊行新聞紙なり

第二千八十一號
明治廿一年十月十八日　木曜日
舊戊子九月十四日（壬、戌）
日出午前五時一十五分　入午後五時一分
月出午後四時三十三分　入午後四時五十四分
滿潮午前四時二十分　午後四時四十一分
（西暦一千八百八十八年）

時事新報代金の早達便

本社は時事新報代金送達の便を謀り內國通運會社と特約を結びたるに就き左記の地方より御拂入れの新報代金は同會社の貨幣早達便を御依托相成候得ば特別を以て表の運賃より二割を引き且つ無配達賃にて送達可致候

現行の郵便小爲替法にては三圓以下の金員を送達するに爲替料三錢郵券料二錢、電留料六錢都合十一錢を要する事なれ共今此の貨幣早達便を依れば五圓以下は只四錢の運賃のみにて送達し若し送金通知書を發する場合には右の運賃に端書一葉の代金一錢を加へ悉皆の費用五錢にて事足るべきに付新報代價の拂入には最も便利ある法と存候

時事新報社

內國通運會社貨幣早達便取扱箇所

東京佐內町
尾張名古屋
上野前橋
信濃上田
陸前仙臺
渡島函館
讃岐丸龜
備前岡山
長門赤間關
武藏尾張
下野宇都宮
信濃下野
岩代郡山
陸中盛岡
近江大津
備前岡山
相模小田原
上野高崎
千葉
若松
岩代福嶋
越後直江津
羽前石狩
山城京都
下總
岩代
越後新潟
陸奥青森
越前敦賀
美濃岐阜
札幌
形山

內國通運會社貨幣早達便運賃表

（時事新報代金は此表より二割引を以て送達すべし）

同金高	五圓未滿	遠近を拘はらず運賃金五錢	
同	十圓迄	同	七錢
同	十五圓迄	同	十錢
同	二十圓迄	同	十三錢
同	廿五圓迄	同	十六錢
同	五十圓迄	同	二十錢

又此早達便を托したる金員不着の節は內國通運會社之を辨償して送出人に損毛を掛けざる定めなり

時事新報

地方官の交際

菊池武德 草

政務視察その他の爲め中央政府の顯官が地方を巡廻するときは地方官は之を郊外幾里の地に迎へて慇懃に案內するとあり遠路の勞を勞らひ不知案內の所を案內するは固より當然の儀なりと雖も既にして特に盛大なる宴會を開き之を饗應するに往々にして新聞紙上にも每度その景況を記し近來稀なる盛會なりし云々は寧ろ稀なるべきが如し勿論彼も我も互に一個私人の資格を以てするとあらんには是とても敢て怪むに足らざれども私の交際を溫めんが爲め自家の私資を以て辨ずるものゝ如き盛事は何分にも不相應なるに似たれば實際その費用の出處は地方官の俸給に附屬する交際費に依るものも多かるべしと判斷せざるを得ず聞く所によれば地方の交際の種類多きが中にも中央官との交際に費やす所は其最も多きに屬するのみならず時としては爲めに交際費の定額に不足を告るとさへなきに非ずと云ふ固より時に隨ひ場所柄に由りて臨機應變の相違ある可きは勿論なれ共之を要するに送迎饗應の淋しきものゝはあるべからざるべし元來我輩の所見と以てすれば交際費の他に費するの謂ゆる一味同體の間に在りては私の情誼の外に交際と稱するものゝある可らず然るに今中央政府の官吏も地方官も其國に奉するの官吏なるに於ては互に相異る所なくして一味同體のものなれば其私交は兎も角もなれども雙方の間に公然たる交際を開いて之が爲めに公然たる交際費を費すが如きは我輩の取らざる所なり顧ふに封建の時代にありては幕府より巡檢使を派出して各藩の政治を視察せしむるの例なりしが其權威の燦然たる公儀の御巡檢使と云へば今に至て猶は無理我儘の異稱となす地方さへある程なれば聊かにても其意を損ふときは中々以て容易ならず由々しき大事に及ぶが故に各藩にては種々樣々の趣向を設け成るべく安穩と異なりて政治の面目を一新し中央も地方も唇齒相倚りて敢て彼我の差別を設けず恰も商賣上に於ける本店と出店との關係にして地方出店の支出は中央本店の支出に歸し結局その經濟を一にするものなれば商店が得意先若くは他の同業者抔に對しては交際の爲め別途の費用を要するも道理なれども出店の役員と本店の役員と相互に送迎饗應せんが爲めとて特に交際費を備ふるものゝあるを聞かず左れば中央政府の官吏が地方を巡回するゝ取りも直さず本店の役員が支店に出張するものゝよして全く內輸の事なれば表向きの交際費を用ゐる場所柄として差支なかる可きや少しく疑おきを得ざるなり但し外國人と至りては例の商賣上の得意先若くは同業者と相同しき者あれば之に對するの交際費は固より止むを得ざるものとして我輩も異議おき所なれども一味同體の日本國內に於ける官吏と官吏との交際は自ら吾と交際する樣のものなれば自今一切これを全廢して政費節減の一端を行はんにはしかれ世間夙に此等の宴會を咎めて時々其不當を鳴するもの少からず蓋し之を咎ひるものは其宴會の盛華を極むるを見て今の日本の經濟に似合はしからずと爲し又其費用は交際費の外別に或は賦金に頼を以て支辨するものゝよは非ざるかおどとて金の出處を怪むの情に出づるものゝ如しと雖も我輩は今ゝに其豪奢を非難するものに非ず況んや賦金は既に地方稅雜收入の部に編入せられて府縣會の監理に屬せしものなれば特に其金の運轉をも怪しむ者に非ずして直ちに官吏同士の交際費は甚だ謂れなきを論ずるのみ又近來は巡回の官吏にして敢て地方官吏の招待を謝絕する者もあるよしにて世間は之を當人の令德なりとして頻りに賞贊するが如くなれども我輩は必ずしも此賞贊に雷同するを好まず衆人水に溺るゝに當りて獨り自ら救ひ得たるは當人の水泳に巧おるが故にして其溺れざるは溺るゝに優ると雖も畢竟するに水あればよろ溺るゝ者も多けれ、我輩は一歩を進め其水源たる交際費の門を閉じて衆人皆溺るゝの機會を斷絕し獨り溺れざるの令德をして溺れを專にせしめざるを欲する者なり

雜報

○黃河の堤防修覆　我國よて岐阜德嶋等に大水ありし前後よ清國よも大水ありて各地方に大災害を與へたるが中にも黃河の堤防壞決したる際などゝ災害一層甚だしく幾千萬の人畜等おくして水中の藻となり其他農產物などに幾百萬圓の損害を與へたるか測るべからず左れば同國政府にも疾くより委員を派出して壞決したる堤防を修覆せしめたるに頃ろ同委員等い秋季以後大水の概況並に堤防修覆工事は霖雨の季節終るまでは延引すべきとを報告せしが黃河大水の概況を知るには尤も便利ありと思へば今其大要を摘記せんに同河堤防壞決口の廣さは五百五十丈よして六月二十日迄に修覆したる部分は五百二十丈にして未修覆の部分は僅かに三十丈に至りしかば同委員は殘餘の部分も速かに竣工する希望を抱き居りしに六月三十日よ及びて又復出水ありて突然材料運搬船を沈沒し同委員の豫算を誤らしめたり以後七月中は一方に修覆を加ふれば從つて一方よ損處を生ずる有樣にて幾度か同樣の事を繰り返へせしかば遂よ壞決口を塞ぐべき材料を流失して遺すおきに至れり然れども尙は出來る丈けの手段を用ひ百方手を盡せども遂に其功なく今は復た盡すべき手段なきに至れるより同工事を監督する人々等は霖雨の季節中は同工事を繼續しがたしと告げたり其理由は今日の如く霖雨ありては材料運搬船は大水の爲めよ推し流されて運動自由ならざるのみならず若し沈沒の不幸に遭ふ時は一度よ二十人より少なからざる生命を失ふと屢々あり且つ强て堤防を修覆するも恐くは大水の爲めに流失するの不幸あるを免れざるべし、そは元來今度の大水の如きは少おくとも一百丈の壞決口ありて之れより溢るゝ水を漏さゝるべからざる筈おるよ今水の通ずる所は僅かに三十丈よ過ぎざれば以後水流の爲めに今よりも壞決口を大よせざるべしとは保證しがたき有樣おればおりと又同監督者等は黃河修覆費よ充てたる七百萬兩い未だ受取らず既よ受取りたる分は漸次消費して今手よ在るは僅かよ廿萬兩よ過ぎず此分よては到底工事を繼續しがたければとて二十萬兩出金の儀を同委員よ請求せしより同委員は實際政府財政の困難おるを知れども切迫の際已むを得ざれば遂よ其要求に應じたりと云ふ目下役夫は十萬人あり其數は大いよ減少するを得べしといへども尙は百分一の人夫は既成の堤防保護の爲め用ひざるを得ず今日の最大困難は材料の乏しきよ在れば秋收を須ちて廣く粟の幹を買求ひる積なり云々との意味なりといふ

○綿の輸入稅　兩三年來我國に紡績事業の行はるゝ人みと甚だ盛んよして四方に其道の會社相繼で起り錘數三十萬に上るい遠からぬほどおれども其之よ必要なる材料の綿は多く外國の輸入を仰ぐよとにして內地に產するものとては所謂九牛の一毛に過ぎざるとよろ實綿おるものゝ如き細綿なり今日實賣の直段にては紡績し得ざる絲の價甚だ安からず之を引下げんとすれば損益相償はざるに至る可し將た今日の儘よて外國輸入の絲に向て競爭せんなどとは中々以て覺束なき次第に付き此上は綿の輸入稅を廢するか全く廢絕す可らざれば幾分か輕減して紡績の材料を低價にし國民需用の大部を占ひる唐絲の輸入を防ぎたい如きものなりとて大坂の藤波次郎三郎氏等は專ら此事に苦心して今度請願の爲めよ上京おしたるよし右は先頃松方大藏大臣の大坂滯在の折り申出でゝ改めて其筋へ建白の筈なりと云ふ

○商業學校の擴張　京都府立商業學校は今度一層其規模を擴張するよ太郎氏其他一層甚だしく幾千萬の人畜等おくして水中の藻となり其他農產物などに幾百萬圓の損害を與へたるか測るべからず左れば同國政府にも疾くより委員を派出して壞決したる堤防を修覆せしめたるに頃ろ同委員等い秋季以後大水の概況並に堤防修覆工事は霖雨の季節終るまでは延引すべきとを報告せしが黃河大水の概況を知るには尤も便利ありと思へば今其大要を摘記せんに同河堤防壞決口の廣さは五百五十丈よして六月二十日迄に修覆したる部分は五百二十丈にして未修覆の部分は僅かに三十丈に至りしかば同委員は殘餘の部分も速かに竣工する希望を抱き居りしに六月三十日よ及びて又復出水ありて突然材料運搬船を沈沒し同委員の豫算を誤らしめたり以後七月中は一方に修覆を加ふれば從つて一方よ損處を生ずる有樣にて幾度か同樣の事を繰り返へせしかば遂よ壞決口を塞ぐべき材料を流失して遺すおきに至れり然れども尙は出來る丈けの手段を用ひ百方手を盡せども遂に其功なく今は復た盡すべき手段なきに至れるより同工事を監督する人々等は霖雨の季節中は同工事を繼續しがたしと告げたり其理由は今日の如く霖雨ありては材料運搬船は大水の爲めよ推し流されて運動自由ならざるのみならず若し沈沒の不幸に遭ふ時は一度よ二十人より少なからざる生命を失ふと屢々あり且つ强て堤防を修覆するも恐くは大水の爲めに流失するの不幸あるを免れざるべし、そは元來今度の大水の如きは少おくとも一百丈の壞決口ありて之れより溢るゝ水を漏さゝるべからざる筈おるよ今水の通ずる所は僅かに三十丈よ過ぎざれば以後水流の爲めに今よりも壞決口を大よせざるべしとは保證しがたき有樣おればおりと又同監督者等は黃河修覆費よ充てたる七百萬兩い未だ受取らず既よ受取りたる分は漸次消費して今手よ在るは僅かよ廿萬兩よ過ぎず此分よては到底工事を繼續しがたければとて二十萬兩出金の儀を同委員よ請求せしより同委員は實際政府財政の困難おるを知れども切迫の際已むを得ざれば遂よ其要求に應じたりと云ふ目下役夫は十萬人あり其數は大いよ減少するを得べしといへども尙は百分一の人夫は既成の堤防保護の爲め用ひざるを得ず今日の最大困難は材料の乏しきよ在れば秋收を須ちて廣く粟の幹を買求ひる積なり云々との意味なりといふ

○綿の輸入稅　兩三年來我國に紡績事業の行はるゝ人みと甚だ盛んよして四方に其道の會社相繼で起り錘數三十萬に上るい遠からぬほどおれども其之よ必要なる材料の綿は多く外國の輸入を仰ぐよとにして內地に產するものとては所謂九牛の一毛に過ぎざるとよろ實綿おるものゝ如き細綿なり今日實賣の直段にては紡績し得ざる絲の價甚だ安からず之を引下げんとすれば損益相償はざるに至る可し將た今日の儘よて外國輸入の絲に向て競爭せんなどとは中々以て覺束なき次第に付き此上は綿の輸入稅を廢するか全く廢絕す可らざれば幾分か輕減して紡績の材料を低價にし國民需用の大部を占ひる唐絲の輸入を防ぎたい如きものなりとて大坂の藤波次郎三郎氏等は專ら此事に苦心して今度請願の爲めよ上京おしたるよし右は先頃松方大藏大臣の大坂滯在の折り申出でゝ改めて其筋へ建白の筈なりと云ふ

○商業學校の擴張　京都府立商業學校は今度一層其規模を擴張するよ太郎氏其他一層甚だしく幾千萬の人畜等おくして水中の藻となり其他農產物などに幾百萬圓の損害を與へたるか測るべからず左れば同國政府にも疾くより委員を派出して壞決したる堤防を修覆せしめたるに頃ろ同委員等い秋季以後大水の概況並に堤防修覆工事は霖雨の季節終るまでは延引すべきとを報告せしが黃河大水の概況を知るには尤も便利ありと思へば今其大要を摘記せんに同河堤防壞決口の廣さは五百五十丈よして六月二十日迄に修覆したる部分は五百二十丈にして未修覆の部分は僅かに三十丈に至りしかば同委員は殘餘の部分も速かに竣工する希望を抱き居りしに六月三十日よ及びて又復出水ありて突然材料運搬船を沈沒し同委員の豫算を誤らしめたり以後七月中は一方に修覆を加ふれば從つて一方よ損處を生ずる有樣にて幾度か同樣の事を繰り返へせしかば遂よ壞決口を塞ぐべき材料を流失して遺すおきに至れり然れども尙は出來る丈けの手段を用ひ百方手を盡せども遂に其功なく今は復た盡すべき手段なきに至れるより同工事を監督する人々等は霖雨の季節中は同工事を繼續しがたしと告げたり其理由は今日の如く霖雨ありては材料運搬船は大水の爲めよ推し流されて運動自由ならざるのみならず若し沈沒の不幸に遭ふ時は一度よ二十人より少なからざる生命を失ふと屢々あり且つ强て堤防を修覆するも恐くは大水の爲めに流失するの不幸あるを免れざるべし、そは元來今度の大水の如きは少おくとも一百丈の壞決口ありて之れより溢るゝ水を漏さゝるべからざる筈おるよ今水の通ずる所は僅かに三十丈よ過ぎざれば以後水流の爲めに今よりも壞決口を大よせざるべしとは保證しがたき有樣おればおりと又同監督者等は黃河修覆費よ充てたる七百萬兩い未だ受取らず既よ受取りたる分は漸次消費して今手よ在るは僅かよ廿萬兩よ過ぎず此分よては到底工事を繼續しがたければとて二十萬兩出金の儀を同委員よ請求せしより同委員は實際政府財政の困難おるを知れども切迫の際已むを得ざれば遂よ其要求に應じたりと云ふ目下役夫は十萬人あり其數は大いよ減少するを得べしといへども尙は百分一の人夫は既成の堤防保護の爲め用ひざるを得ず今日の最大困難は材料の乏しきよ在れば秋收を須ちて廣く粟の幹を買求ひる積なり云々との意味なりといふ

○綿の輸入稅　兩三年來我國に紡績事業の行はるゝ人みと甚だ盛んよして四方に其道の會社相繼で起り錘數三十萬に上るい遠からぬほどおれども其之よ必要なる材料の綿は多く外國の輸入を仰ぐよとにして內地に產するものとては所謂九牛の一毛に過ぎざるとよろ實綿おるものゝ如き細綿なり今日實賣の直段にては紡績し得ざる絲の價甚だ安からず之を引下げんとすれば損益相償はざるに至る可し將た今日の儘よて外國輸入の絲に向て競爭せんなどとは中々以て覺束なき次第に付き此上は綿の輸入稅を廢するか全く廢絕す可らざれば幾分か輕減して紡績の材料を低價にし國民需用の大部を占ひる唐絲の輸入を防ぎたい如きものなりとて大坂の藤波次郎三郎氏等は專ら此事に苦心して今度請願の爲めよ上京おしたるよし右は先頃松方大藏大臣の大坂滯在の折り申出でゝ改めて其筋へ建白の筈なりと云ふ

○英國軍艦アイカタイ　嬢床より呼び起せしに辭して生死の際同伴せ向ふ際同じ駛せ向ふ際同じとゞレノッキ遊びて舊跡を探ねリッチモンドに行くく破壞せられ

○世界漫遊者　界漫遊の爲め日熊本縣熊本しよし

○願旨聞屆け　物產陳列場い出備參考品を借用より右い開屆け

○海岸測量　大尉の一行は浜測量に從事す

○大學通俗講　梯山破裂の話し滿ちたりしが

（練習の話）寺尾領戰するよし

○世界無雙の俠　ン メーン府よ世界無雙と稱す二萬千二百八十

○新聞發行の儲　發起よて一の新たるところ右い目今休刊中なて近々のうち其

坂商法會議所の